

【中小企業の景況】

岩手県商工会連合会の「中小企業景況調査報告書」による実績は以下のとおりである。

2023年10～12月期

●売上高：小売業の売上高D・Iが大幅に悪化、建設業、製造業は改善に転じる

今期の売上高D・Iは、3期連続して上昇していた小売業が大幅に悪化した。また、サービス業も2期連続の悪化となり、マイナス域まで低下している。建設業、製造業は改善に転じている。小売業は50.0ポイントの大幅な低下となり△47.5まで悪化、サービス業も15.2ポイント低下して△5.0となった。他方、建設業と製造業が上昇に転じ、建設業が6.5ポイント上昇して△25.0、製造業が13.4ポイントの上昇により△23.3まで、それぞれ改善している。来期は、小売業、製造業において改善が見込まれるものの、サービスは今期に引き続いて悪化してマイナス幅を拡大、建設業においては再び悪化となる見通しとなっている。

●採算：全業種において採算D・Iが改善、製造業が大幅に改善

今期の採算D・Iは、前期大幅に悪化していた製造業が上昇に転じ大幅な改善となった。サービス業は3期連続しての改善、小売業、建設業も改善に転じている。製造業は25.8ポイント上昇して△27.6まで改善、サービス業は1.0ポイントとわずかながら改善、小売業は3.9ポイントの上昇により△46.1まで改善、建設業も8.1ポイント上昇して△55.0まで改善したが、依然として低いレベルで推移している。来期は、今期大幅な改善がみられた製造業が悪化に転じるものの、サービス業、小売業、建設業においては2期連続して改善することが見込まれている。

●資金繰り：全業種において資金繰りが改善、製造業は2期連続の改善

今期は、製造業において資金繰りD・Iが2期連続の改善となった。また、前期悪化傾向にあったサービス業、小売業、建設業も改善に転じている。製造業は2期連続の改善となり、4.0ポイント上昇して△16.7まで回復、前期悪化傾向にあったサービス業は1.0ポイントとわずかながら上昇して△18.3、小売業が4.3ポイント上昇して△30.8、建設業が7.1ポイント上昇して△35.0まで、それぞれ改善した。来期は、製造業において引き続き資金繰りD・Iが改善することが予想されるものの、小売業は僅かながら悪化し、サービス業、建設業は横ばいとなる見込まれている。

〈業況天気図（売上高D・I）〉

業種	期間	令和4年 10月～12月	令和5年 1月～3月	4月～6月	7月～9月	今期 10月～12月	(見通し) 1月～3月
製造業		(△13.8)	(△23.3)	(△20.0)	(△36.7)	(△23.3)	(△20.0)
建設業		(△35.0)	(△45.0)	(△25.0)	(△31.5)	(△25.0)	(△30.0)
小売業		(△50.0)	(△30.0)	(△20.6)	(2.5)	(△47.5)	(△40.0)
サービス業		(△31.6)	(△23.3)	(13.3)	(10.2)	(△5.0)	(△23.3)

〈凡例〉

売上高DI	100.0～30.1	30.0～10.1	10.0～△10.0	△10.1～△30.0	△30.1～△100.0
表示					